

1. 12月の目標

- 1)新しい授業への対応と語彙の強化
- 2)フォーミュラSAEチームの活動への参加
- 3)ELC及びその他の活動への参加

2. 12月の活動

2.1 新しい授業への対応と語彙の強化

今月1日から冬学期が始まり、ELC内でのクラスレベルがAdvanced 3(以下A3)からAdvanced 2へ一つ上がった。これにより授業内容が少し難しくなるため、新しいレベルへの対応が求められる。表1に冬学期の授業スケジュールを示す。

表1 冬学期の授業スケジュール

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
9:00-10:00	Grammar	Writing	Grammar	Writing	Grammar
10:00-11:00	Reading		Reading		Reading
11:00-12:00	Conversation	Vocabulary	Conversation	Vocabulary	
12:00-13:00					
13:00-14:00			Presen Skills		
14:00-15:00	Presen Skills				
15:00-16:00	Reading S & T		Reading S & T		
16:00-17:00					
17:00-18:00					
18:00-19:00		Vehicle Dynamics		Vehicle Dynamics	
19:00-20:00					

午前中の5科目、Grammar、Reading、Conversation、Writing、及びVocabularyが必須科目、午後の2科目、Presentation SkillsとReading Science and Technologyが選択科目である。これら7科目はELC内の科目で、Vehicle DynamicsはRITの授業である。今回は必須の5科目について報告する。

必須科目の授業内容は秋学期と比べると多少難しくなったが、夏学期から秋学期に3つレベルが上がったときと比べると、それほど大きな差はない。教科書はA3のものと同様構成であるが、課題が非常に多くなった。例えばReadingでは、300ページほどの教科書を使っているが、毎回、次の授業までに10ページ分ほどの文章と設問を解くことが課題となる。Readingが苦手な私は、課題にかなりの時間を要するようになった。Conversationでは、これまでにRITの学生へのインタビューが課題として出された。秋学期のConversationでも同様の課題が出され、内容は出身地や専攻などの簡単な質問であったが、今回は携帯電話の利用マナーについて、特定の条件下では法律によって利用を規制するべきか、RITの全ての学生がマナーを守れるかなど、質問内容が難しくなった。当然、質問に対する回答も複雑になり、回答のまとめに苦労した。

各科目からの膨大な課題によって、睡眠時間は大幅に少なくなった。特に冬休み前の1週間は、平均で2時間ほどとなってしまった。秋学期に単位を1科目分落としてしまったため課題に少し重点を置いているが、これでは少し辛いので効率を上げたい。

2.2 フォーミュラSAEチームの活動への参加

今月から、5月のミシガン大会に向けた新車両の製作が本格化し始めた。部品製作の図面は設計などに使っているメインの部屋のボードに張り出され、担当などに関係なく各メンバーが作れるものを選んで加工する形をとっている。秋休み前にはモックアップの状態だったフレームも、メインフープ、フロントフープのパイプの曲げと溶接が終わっていた。私の初めての仕事はこれらのパイプ磨きとなった。



図1 溶接の様子

その後もサスペンションアームのブラケットやラジエターブラケットなど、3種類ほどの部品製作を手伝った。これらの部品の製作には工作機械を使用したが、RITでは夢考房のようなライセンス講習はなく、誰でも使用できるようである。NC旋盤などの高価な機械も学生一人で手慣れた様子で使用しており、少々驚いた。私はフライス盤や旋盤などを利用したが、スイッチ類の配置や工具及び材料の固定方法などが大きく異なり、寸法の単位もインチであったため初めは戸惑った。それでも4、5時間の使用で工作機械の使い方は理解した。図面の寸法単位もインチであり、部品の大きさは未だに想像しにくい。



図2 カウルの積層の様子

彼らの設計はもちろんだが、加工の精度や方法も非常に良い参考となっている。フレームの溶接にはアルミのブロック材を多用した治具を使用し、パイプとパイプの間隙は1mmもできないように慎重にすり合わせをしていた。フライス盤を使う際には、工具の回転軸の垂直度をダイヤルゲージで確認する作業を必ず行う。カウルの一部であるサイドパネルの型取りには、溶接途中のフレームに直接フィルムを貼り、その上に樹脂を積層していた。しかし、どの作業をするにも、作業着を着用しているメンバーはいない。保護メガネの着用も任意と言った様子である。図1から3にそれぞれ溶接、カウルの積層、旋盤作業の様子を示す。



図3 旋盤作業の様子

2.3 ELC 及びその他の活動への参加

2.3.1 チョコレートオンアイス

12月5日(土)の夜 10:30 から,RIT のリンクで開催されたイベントである。初めに案内を見たときには,アイスリンクの氷の上にチョコレートが敷かれ,その上を滑れるものだと思っていた。実際はそのようなことはなく,チャリティイベントとして缶詰と引き換えに入場料及び貸し靴代の免除,そしてチョコレートがもらえるというものだった。自分でスケート靴を持っている人は,靴を持ち込めば無料で滑ることができた。遅い時間にも関わらず,多くの学生でリンク内は混雑した。図4にチョコレートオンアイスの様子を示す。

2.3.2 East View Mall

12月12日(土)に ELC のイベントで,RIT からは車で 30 分ほどの距離にあるショッピングモールに出かけた。まずはモール内にある映画館にて,現在上映されている 10 種類ほどの中から 1 つを選び鑑賞した。ELC のイベントということで,価格は\$2.5 と非常に安かった。映画鑑賞の後はモールにて,2 時間ほどの買い物を楽しんだ。

2.3.3 サッカー

秋学期に引き続き,冬学期も ELC のメンバーが集まってサッカーのリーグ戦に参加することとなった。前は下位のレベルである Division 2(以下 D2)のリーグに参戦し,優勝することができたため,今学期は上位の Division 1(以下 D1)のリーグに登録した。参加人数の関係から,今学期は 1 チームのみとなった。12月13日(日)に第 1 戦が行われ,対戦相手は秋学期の D1 で優勝したチームであった。D2 と比べるとレベルはかなり高くなり難しい試合となったが,1-0 で勝利した。第 2 戦以降は 1 月からとなる。

2.3.4 クリスマスプレゼント

私が住んでいる寮,International House のイベントで,12月16日(水)にクリスマスプレゼントの交換を行った。事前にくじ引きでプレゼントを渡す相手を決め,寮のラウンジにあるクリスマスツリーの下に宛名のみを書いて置いた。当日に全員で集まってプレゼントを受け取り,差出人を推測した。私はニット帽一杯に詰められたチョコレートももらった。図5にクリスマスプレゼントの交換の様子を示す。



図4 チョコレートオンアイス



図5 クリスマスプレゼント交換

3. 1月の目標と課題

1) 授業への対応と語彙の強化

新しい授業には慣れたが完全に対応できていないため、計画的に学習を進めたい。また、語彙の強化のため、自学の時間を増やしたい。

2) フォーミュラ SAE チームの活動への参加

専門領域の勉強とアメリカ人と話す機会を作るために、より積極的にワークショップへ出向き、活動に参加したい。

3) ELC 及びその他の活動への参加

引き続き、英語を使う機会を多く得るためや異文化を感じるために、様々な活動に参加したい。

4. その他

今月上旬から雪の日が多くなり、雪が積もるようになった。雪が積もると早朝から除雪車が走るため、学内の車道、歩道は安全に通行できる。日本にあるような融雪装置はこちらにはなく、多くの除雪車が1日中学内を走り回っている。日中の最高気温が氷点下になる日が多くなったが、湿気が少ないためか体感気温はそれほど寒くはない。今月も体調を崩すことはなかったが、睡眠時間の確保と生活リズムの調整に努力したい。

12月19日(土)から1月2日(土)までから寮が閉まってしまうため、RITの友人の実家を訪ねる形で、ボストン、ウィルミントン(デラウェア州)、ポートランド(オレゴン州)、ニューヨークシティの4都市を旅行している。

ボストンではハーバード大学やマサチューセッツ工科大学を訪れた。また、ボストン市内を流れるチャールズ川が凍結し、美しい光景を見ることができた。図6に凍結したチャールズ川を示す。また、図7にお世話になったボストンの家族を示す。12月20日(日)にボストンからウィルミントンへ移動する予定だったが、ニューヨークシティからボストン周辺が嵐で大雪となり、多くの交通機関が止まってしまったため、1日予定がずれてしまった。

ウィルミントンでは、自然史博物館やデュポン邸を訪ねた。博物館は、ワシントンDCやニューヨークシティのもの比べると非常に小さく、展示物も同じようなものが多かった。デュポン邸は敷地が広く、メインの建物内にはミュージアムがあり、デュポン家で使用されていた家財などが多く展示されていた。図8にお世話になったウィルミントンの家族を示す。

ポートランドには12月23日から30日まで、1週間ほど滞在した。こちらでは、博物館、美術館、動物園、日本庭園、滝などを訪ねた。図9にマルトノーマ滝を示す。クリスマスには滞在先の友人の家族とプレゼントの交換を行い、車のプラモデルやセーター、手帳などの多くの品々を頂いた。図10にお世話になったポートランドの家族を示す。

31日にニューヨークシティに着き、タイムズスクエアで2010年のカウントダウンをした。スクエア内は人で溢れ、警察による入場規制が行われた。長い待ち時間にもかかわらず、非常に多くの人々が一ヶ所に数時間立ち続けた。図11にタイムズスクエアを示す。

ポートランドからニューヨークシティ方面へ飛行機で移動したが、到着した際にスーツケースが届かないトラブルがあった。この1点以外に特に問題は起きておらず、安全に旅行を楽しんでいる。



図6 凍結したチャールズ川



図7 ボストンの家族



図8 ウィルミントンの家族



図9 マルトノーマ滝



図10 ポートランドの家族



図11 タイムズスクエア

以上